

都市再生整備計画(第4回変更)

ながれやまほんちょうしゅうへん
流山本町周辺地区

ちば ながれやまし
千葉県 流山市

令和5年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	千葉県	市町村名	流山市	地区名	流山本町周辺地区	面積	280.4	ha		
計画期間	2	令和	6	年度	交付期間	令和	2年度～	令和	6	年度

目標

- 大目標:賑わいと魅力あるまちづくり
- 小目標①:地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る
- 小目標②:来訪者の受入体制の充実

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
本市では、平成17年8月のつくばエクスプレス線開業に伴い、流山おおたかの森駅周辺を中心に人口が増加している。そのため、新設の商業施設や公共施設は同駅周辺に集中している。一方で流山本町周辺地区には、江戸時代に白みりんの醸造で栄えた古いまちなみや国登録有形文化財等歴史的・観光資源が残されている。このことから、歴史的・観光資源を活用し交流の拡大を図るために、ツーリズム環境整備を行う。

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、流山市の西部に位置し、地区内の流山本町は江戸川沿いにあるかつて舟運や醸造業で栄えた、白みりん発祥の町であり、現在も、流山キッコーマン株式会社とみりんの生産工場がある。みりんの製造と大きく関係のある100年以上前につくられた町民鉄道・流鉄流山線があり、みりん製造工場に物資を運んでいた引込み線跡(現在は市道43005及び43006号線)が今もその形を残している。また、歴史的なゆかりも多く、新選組が陣を敷き、局長・近藤勇と副局長・土方歳三の最期の別れの地「近藤勇陣屋跡」や、小林一茶が何度も訪れた豪商・秋元家を活用した「一茶双樹記念館」などの施設がある。そのほかにも、神社仏閣、国登録有形文化財などが点在しており、観光スポットが多い。近年では古民家をリノベーションしたカフェやレストランが人気となっており、歴史的なスポットをガイドするNPOへの依頼も増えている。また、住民手作りの切り絵行灯が約100基設置されており、切り絵行灯による江戸情緒が残る景観形成に貢献したとして、令和元年度まちづくり功労者国土交通大臣表彰を受賞した切り絵行灯制作者(2名)が居住する場所である。さらに、切り絵行灯や白みりん発祥の地を活かしたイベントなどが住民主導で行われ、地域愛の意識が高まっている。

課題

地域資源の掘り起こしにより、着実に来訪者が増えてきているが、ハード面での整備は道路の美装化約125メートルに留まっている。また、100年以上前に作られた町民鉄道・流鉄流山線があり貴重な地域資源であるが、周辺の整備が行われていない。本市は、つくばエクスプレスの開業により東京からの来訪者が増えている。本地区は流山セントラルパーク駅及び南流山駅から徒歩圏内であるが、案内板が整備されていない。住民も来訪者も当該地区への期待が高まっていることから、住んでよし、訪れてよしのまちづくりを行う必要がある。

将来ビジョン(中長期)

【都市計画マスタープラン】

流山市都市計画マスタープランにおいては、古い町並みの維持・活用を行い「歴史の薫りを感じつつ新しさに出会えるまち」をつくるとされている。

【総合計画】

令和2年度を計画初年度とする次期流山市総合計画では、「都心から一番近い森のまち」の実現を図るため、「安心・安全で快適に暮らせるまち」「生きがいをもって健康・長寿に暮らせるまち」「良質な住環境のなかで暮らせるまち」「賑わいと魅力あるまち」「誰もが自分らしく暮らせるまち」「子どもをみんなで育むまち」の6つが基本方針として挙げられている。この目標に対して、地域の特性に応じた土地・景観形成、環境保全を図り、さらに相互の機能分担と有機的な連携により地域間ネットワークを強化し、バランスのとれた都市空間を形成する施策を展開している。

【立地適正化計画】

流山市立地適正化計画では、本地区は都市機能誘導区域に位置付けられている。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

本地区は、かつて白みりんの醸造で栄えた町であったことから、衰退しているものの商店街や個店等を中心とした経済機能をもとより有しているところであるが、古いまちなみの活用と合わせて、交流人口を増加させ市民が愛着と誇りをもてる観光交流機能の充実を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

本市に係る歴史的なスポット(地名発祥の地、白みりん発祥の地、近藤勇陣屋跡等)における施設整備を実施し、各スポットの魅力をグレードアップさせると共に、TX流山セントラルパーク駅及び南流山駅の訪問客を流山本町地域へ誘導するため案内板を整備することで、交流人口の拡大を図る。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
市が指定管理及び業務委託を行う観光施設の入込客数	人	市が指定管理及び業務委託を行う観光施設の入込客数を計測する。	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	34,659人	34,750人
流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金活用店舗の入込客数	人	流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金(古民家等を活用し観光に資する店舗の出店者に交付する補助金)を活用した店舗の入込客数を計測する。	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	66,992人	67,150人
流鉄流山線流山駅の一日平均乗降客数	人	流山本町への玄関口となる当該駅の年間の乗降客数を計測する。	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	2,714人	2,750人

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・小目標①: 地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	【高質空間形成施設】 赤城山公園整備事業 【提案事業(地域創造支援事業)】 流山本町ライトアップ事業 【関連事業】 白みりんミュージアム整備事業
・小目標②: 来訪者の受入体制の充実	【地域生活基盤施設】 情報板整備事業 【関連事業】 白みりんミュージアム整備事業
その他	

流山本町周辺地区(千葉県流山市)	面積	280.4 ha	区域	流山1~8丁目、加5・6丁目、前平井、後平井、平和台2・4丁目、南流山2・3・5・6丁目
------------------	----	----------	----	--

